

JHF理事会議事録

日 時： 2025年8月1日(金) 13:00～16:30

場 所： JHF事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 竹村 治雄 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 高瀬吉康 竹村治雄 横田 開
オンライン (ZOOM) 橋田明夫 濱田 革 廣川靖晃

【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀

(出席理事7名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

岩村監事：ハンググライディングクラス5世界選手権で板垣選手が優勝したのでアピールしていきましょう。

芦川副会長：総会以降6月20日に事務局作業。ハング機体が展示されている所沢航空公園から問い合わせの際、ハングについての講演要望があった。

高瀬理事：JHF Instagramへ画像提供を継続している。ヨーロッパ撮影も提供したい。8月2、3日の「空を見上げて」IN東京は中止になったが今後も協力したい。

橋田理事：補助動力委員会の浮力体テキストが完成した。事故があったこともあり安全啓蒙していく。

濱田副会長：一般財団法人日本航空協会（以下JAA）航空スポーツ協議会に出席した。高齢者対策の課題がメインで参考になる箇所もあった。鳴倉山ライトエリアでの大会事故は競技委員会で今後の取り組みをまとめている。

横田理事：HGクラス5世界選手権での個人優勝についてハングパラ振興委員会としてプレスリリースを川地委員が作成し茨城県庁の記者クラブへ投函した。記者会見等も広報チームで検討している。

竹村会長：事務局から代表理事への確認等のメールが多い。他の理事とも共有した方がよい事項もあり、情報共有について検討したい。

4. 審議事項

第4-1号議案 技能証規程一部改訂について（申請料改訂）

橋田理事：5月理事会で決議した値上げの中で、技能証申請料金について制度委員会の確認後の規程の承認をお願いしたい。

竹村理事：制度委員会から規程の文言で「再交付」としているが他パンフレット、申請書資料等は「再発行」となっている。今回は規程の改定にとどめ、申請書等の文言はそのままとする。

技能証規程別紙(申請料等一覧)の申請料の値上げ金額を確認し10月1日より改訂することで承認した。

出席理事全員（議長を除く6名）の賛成で承認

5. 協議事項

5-1 静岡県フライヤー連盟からの要望書について

1) JHFステッカーについて

現在のステッカーは配布用に作ったこともあり、次回制作する際は、一般公募等も含めハングパラ振興委員

会にも検討を依頼する。

2) FANET、Flarm の利用促進の後押し、日本国内の環境づくりについて提案があった。

他航空スポーツ団体と情報交換や時間をかけて慎重な対処が必要なこともあり、J A A 航空スポーツ連絡会で議題にもらいう。妻沼滑空場の近くで練習中のグライダーからハンググライダーの目撃報告があったこともあり、安全性委員会にも情報収集を依頼する。

5-3 技能証移行申請の見直しについて

5月理事会で協議をした「国内外で同等の技能証は理事会の承認があれば申請出来る」について

竹村会長：前回報告し、竹村が対応をすることとしたオーストラリアのフライヤーからライセンス移行申請の件は、技能はビデオ等で確認、また Sports Aviation Federation of Australia (SAFA) からのパイロット証 (P4) を取得しており、この技能証が I P P I _P4 に相当することも確認できた。ただし日本の航空法の知識も必要と考え、J H F の P 証学科問題を英訳し受検してもらい合格した。本件は理事会で移行承認。

竹村会長：国外からの移行申請については、制度委員会に諮問をして技能証規程を変えてもらったらどうか。

芦川副会長：自動車免許証も外国人が日本の免許証に移行している。海外で飛んでいるのであれば技能的に問題ないと思うが、ハイク＆フライト等になると不安はある。

竹村会長：I P P I カードがあれば日本で飛べることは国際航空連盟（以下 F A I ）ルールなので認めない訳にはいかないが、J H F 技能証を出す場合は J H F が F A I や J A A に所属する組織であることを学んでもらうため、学科検定を受けてもらいたい。

芦川副会長、橋田理事、高瀬理事：移行申請の理事会承認は残した方がよい。

濱田理事：理事会承認は不要でよい。

竹村会長：海外は承認が必要で、国内同等クラスは不要でよいとも思う。

横田理事：移行申請については J H F 学科検定も最低限受けてもらいたい。

竹村会長：移行承認には学科検定は受けてもらうようにする方向で制度委員会に諮問することを次の理事会での審議事項とする。

5-4 会員制度の新設について

竹村会長：フライヤー会員の高齢化に伴い日々会員数が減少している。もう飛ばない人でもハング、パラを応援したい方のための会員制度を作ったらどうか。

芦川副会長：個人賛助会員として金額を設定し会報は送ったらどうか。

橋田理事：高齢の会員を引き留める案は賛同。その会員分は都道府県連盟事業費も支払いしなくてもよい。

高瀬理事：会員システムの改修ができれば可能。

竹村会長：来年総会までに会費徴収のオンライン化等についても検討したいので、会員規程、定款にも関係するため継続協議とする。

5-5 正会員事業費について

正会員事業費は、事業報告、決算、事業計画、予算、役員名簿の提出を受けて支払いしている。規程では実績報告書の提出期限は事業終了後 2 ヶ月以内である。現状は 2 ヶ月を過ぎても支払いしているが、5 年未請求事業費は償却している。今回それ以前の報告書が届いた。

濱田副会長：5 年以上前で償却分は支払い不要。

横田理事：正会員助成事業交付規程の 6 条の事業報告提出期限が 2 ヶ月以内を提出翌年度中等への変更が必要ではないか。

竹村会長：単年度等に変更するのであれば猶予期間が必要になるため、6 条の 2 ヶ月以内を半年から 1 年の

期間に修正する方向で制度委員会に諮問する。未払いの事業費償却を早めるには周知期間が必要で現理事の任期中に確定し、遅くとも2027年総会迄には説明、報告する。

5-6 JHF総会意見について

総会で正会員から出た意見について協議する。

1 総会録音、録画を公開して欲しい

横田理事：見たいのであれば傍聴すればよいのでは？

芦川副会長：公開する必要性はあるのか？

高瀬理事：議事録を見て欲しいでよい。

竹村会長：正会員はどう考えるか、正会員へアンケートを取るか？

濱田副会長：システム上問題がなければJHFに关心を持つてもらうために、YouTube等で公開すべき。

橋田理事：一般公開は反対。フライヤー会員限定であればよい。

横田理事：フライヤー会員限定で傍聴申込書も提出してもらう。

竹村会長：フライヤー会員限定でYouTube配信を検討することで正会員の意見を募集し、具体的な配信方法は次回理事会で詳細を詰める。

2 事故調査の教育等を検討して欲しい

事故調査方法等の勉強会については、安全性委員会に教員検定員への事故調査マニュアルを整備してもらうように来年2月の教員検定員研修検定会までに依頼する。

3 会費が高いから全サービスを受けられない子供料金等を検討して欲しい

横田理事：他のスポーツ団体でも子供料金はなく、第三者賠償責任保険は本人を守るためにも必要で、万が一の事故のためには会費は高くない。

濱田副会長：例えば半額にすれば子供が増える可能性がある。使わない権利があるなら割り引いた方がよい。

竹村理事：使わない権利を考慮すると、競技をしていない人は減額して欲しいというケースも出るので、子供料金の設定は避けたい。海外のスカイスポーツで子供料金がある国はなく、子供を遊ばせるのであればスクール1日体験なら無駄がない。フライヤー会員登録の家族割引等は今後検討したい。

4 教本デジタル化について

橋田理事：デジタル化して無料にすると費用回収が出来ない。コストをどう反映するか。

竹村会長：利便性であれば電子データで買えばよい。電子書籍化が可能かを検討する。

5 予算について

予算は委員会意見を聞いて理事会で決めて3月末に内閣府へ提出。内閣府へ提出した予算を正会員へ総会資料を送る前に報告は可能。次年度予算を検討する際要望等があれば文書で提出してもらう。その際、総会 上程案と同じく2名以上の正会員の連名を必要とすることで10月頃に案内をする。

6 VR体験について

竹村会長：パラグライダー機材は寄付する。宅急便160サイズで送れるのでルール作りをする。

横田理事：無償ではなく将来的な機材購入等も考えて最低限の金額をもらったらどうか。

竹村会長：正会員主催のみ体験会へは1回5千円で貸し出せるように検討する。

7 外部理事・外部監事の業務について

制度委員会に具体的な役割と制限事項について相談する。

8 安全性委員会：レスキューパラシュートリパック認定証を持った人がリパックしたパラシュートを装備することをエリアルルールに入れてもらうように正会員へお願いをした。

リパックチェックシートについては海外を参照してアップデートし改訂を委員会で検討してもらう。

9 上級タンデム検定のやり方について

上級タンデムは検定員の負担が大きく、開催回数が限られる点について種々意見交換した。検定の方法を見直すことで、改善できるのであれば、理事会である程度方向性を決めて関係委員会と相談していく。

5-2 2025年度計画、目標について

竹村会長から提案の各理事の今後2年間の計画、目標については、次回以降の理事会で協議する。

6. 報告事項

6-1 体験会等について

芦川副会長より、埼玉スカイスポーツフェスタについては展示のみで対象者が限定されることもあり例年通り不参加、他体験会は調整中である報告があった。

6-2 技能証発行件数

フライヤー会員数、技能証発行件数等について確認し、意見交換した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)

理事

芦川雄一郎 印

高瀬吉康 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

廣川靖晃 印

横田 開 印

監事

岩村 浩秀 印